



TOON

ボラ連だより

NO.12
2019.9.1

発行・編集 東温市ボランティア連絡協議会
〒791-0212 愛媛県東温市田窪300-2
電話 089-955-5535 FAX 089-955-5766

印 刷 岡田印刷株式会社



第13回東温市ボランティアフェスティバルで重信中学校の吹奏楽部による迫力ある舞台演奏♪♪



第13回東温市ボランティアフェスティバルでボランティアによる舞台発表&スピーチ♪



会長あいさつ

ボランティア活動について

東温市ボランティア連絡協議会 会長 菅野 邦彦

元号が平成から令和へと変わりました。平成の時代を振り返ってみると、少子高齢化が予想を上回るスピードで進んでいます。子ども（15歳未満）の数が平成元年と平成31年を比べてみても787万人減少とあります。

全人口に占める子どもの割合は12.1%。一方、高齢者の割合は28.3%と子どもの割合の倍を超え、「少子高齢化」が際立つと報告されています。

2040年の推計では、「一人暮らしの高齢者は900万人に達する」と2040年問題とかこつけて報道されています。

一人暮らしの高齢者は、自助努力だけでは生活が成り立ちません。共助、公助が必要となります。そしてボランティアの活動が。

東温市ボランティア連絡協議会には、10団体が加盟しています。会員の高齢化により活動が維持できなくなったり、あるいは、家族の介護で参加できなくなった等々の理由で会員数が減少しています。ボランティア活動に興味がある方はどうぞ一緒に活動しませんか。河合隼雄教授は、「ボランティアの人たちは、よほど謙虚な気持ちを持っていないと、思いがけない害を他人に与えることになると自戒していただきたい。人間は『善意』によって行動していると確信するとき傲慢になりがちである。」

（「日本人とアイデンティティー」より）と戒めています。謙虚さ、無償性、公共性、自主性を忘れることなく努めてまいりたいと思います。

HATACHIの会

平成31年2月10日川公にて、第13回東温VFを開催しました。今年は、各グループの発表があり、私達は「ジャンボ紙芝居」を披露し、沢山の拍手を頂きました。ありがとうございました。この物語は安国寺の裏に高速道路が出来た時、三恵ホームの利用者である三好学さんが作った童話をもとに「ジャンボ紙芝居」を作成したものです。

私達は、平成13年4月に三恵ホーム退職者7名が立ち上げ、メンバーは3名替わりましたが、現在9名で18年間頑張っております。が、どうしても体力が……？

内容は、三恵ホームでは、買物介助、ゲーム介助、傾聴、イベント介助。希望の館では、買物介助（見奈良フジ）、傾聴、イベント。トナカイでは、菓子箱折り、木工細工磨き、イベント手伝い。要請があれば、サロン、病院、デイサービスへ行き、紙芝居、ジャンボ絵本、ゲーム等を行ってます。HATACHIの会は、20歳の頃のように、夢と希望と笑顔をモットーに。令和時代も輝いて健康で仲良くボランティアを続けていたらと思っています。

どうぞよろしくお願ひします。

メンバー一同より



愛媛大学病院ボランティアいきいき会

いきいき会活動員は、病院職員と協働し、玄関等での案内や車椅子の介助、一般図書の管理運営、配本、除草等環境美化、傾聴、折紙教室等8部門とイベントなど多様な活動で患者さんやご家族に安心とやすらぎの提供に取り組んでいます。

活動は、8つの部門及びイベント活動があり、外来部門（玄関等での案内や車椅子の介助）・図書部門（一般図書の管理運営、配本）、病棟部門・折り紙教室部門・花壇部門・環境美化部門（除草等環境美化）・手芸部門・介助機器整備部門です。

また、イベント（七夕やクリスマスクリスマスツリー設置・コンサート等の支援）など多様な活動で患者さんやご家族に安心とやすらぎの提供に取り組んでいます。



平成30年度愛媛大学病院ボランティアいきいき会総会

平成30年6月22日

手話サークル ハッピー

「これって手話でどう表すんだっけ?」「う~ん、辞書辞書」「なるほど…」「この手話の意味は?」「〇〇かも…」などと誠にたどたどしい活動ではあります、ろう者との会話を楽しみたい。及ばずながらも何かのお役に立ちたい。子供たちに手話を伝えたい。日常の中のいたるところで手話の挨拶が飛び交う町になつたらいいなを夢見て活動しています。

さて、みなさん、手話表現の奥義とは何だと思いますか？　むづかしい言葉をいかにシンプルにやさしい表現に変えて、誰にでもわかるように、表情を交えて伝えることです。手話を覚えると心が柔らかくなり、豊かな表現ができるようになります。つまり「ハッピー」になれるということ！

「私のハッピー、あなたのハッピー、みんなのハッピーと一緒に創りませんか？」



精神保健ボランティア「ほのぼの」

私達は、平成13年川内町の精神保健ボランティア講座を受講し、「ほのぼの」を立ち上げました。川内健康センター敷地内の空き住宅をデイケアの拠点とするべく会員で障子を張り替え、調理器具、食器、その他家具等を持ちより、デイケアで障がいの方々がゆっくり落ち着いて過ごせる場所として整備し、「青空ハウス」と命名しました。発足当時はたくさんの会員がいたのですが、高齢化やその他の事情で現在は7名で活動しています。

主な活動は毎週金曜日、主に「青空ハウス」で実施される市の精神障がい者デイケアのお手伝いをしています。内容は、調理実習、室内ゲーム、散歩、会員でお弁当を作つてのお花見、滑川でのバーベキュー大会、クリスマス会、新年会等、当時者・市職員・ほのぼのの会員、家族会、その他関係機関も交えて楽しく活動しています。

精神障がいの方の中には、統合失調症、うつ病、発達障がいなど色々な症状があり、珍しい病気ではなく、誰がいつ発症してもおかしくないと言われています。当事者達は治療しながら社会復帰に向けて日々頑張っています。私達は彼らの話に耳を傾け、良き相談相手として、活動していきたいと思っています。そして精神障がい者に対する社会の偏見が少なくなることを願っています。



音声訳グループ「はなみずき」

最近、「おとのための1分音読」(自由国民社)という本が評判をよんでいます。我々は、黙読ばかりをして、声に出して本を読むことを避けてきました。この本には、音読のメリットとして5つの効果が書かれていますが、5番目に「誤嚥性肺炎の予防に役立ちます。」とありました。皆さん、このことを信じて音読に励んでみませんか。

ところで、「はなみずき」は平成18年11月1日に発足して以来、毎月欠かすことなく活動を続けています。

毎月初めに、東温市から発行されている「広報とうおん」をCDに録音、ダビングして視覚障がいの方の自宅、市役所等の公共施設、高齢者福祉施設などに配布して聞いていただいている。また、月の半ばには愛媛新聞のコラム、文芸、読者の投稿記事などを録音、ダビングして同じように配布しています。

メンバーも年々、年を重ねてきましたが、今年は2人の新入会員が加わりました。読書の好きな方、音声訳に興味のある方、まずは活動状況などを見学してみませんか?

いつでもメンバーに声をかけてください。



TOON音²

私たちのグループ員は、昭和生まれで、昭和育ち、一生懸命の子育て時期を経て平成へ、少しゆとりのできたところで民生委員に。

そこで芽生えたボランティア精神、あれやこれやとやりながら落ち着いたところがTOON音²そして令和へ。

オール七十路も近いけれど、まだまだ元気でやる気十分です。

すばらしい音色に興味のある方、どうぞお声がけください。



東温チャイム・レインボー

現在会員数は8名で活動しています。要請を受けた団体に出向き、トーンチャイムの演奏を楽しんでいただくのが目的であります。

季節に応じて、選曲・練習を重ねて定期訪問の「ガリラヤ荘」「小梅」他希望されるサロンや施設、病院等へ訪問し演奏する中で、皆さんとのコミュニケーションを図り、メンバー同士協力し、楽しんでいます。オカリナに合わせて童謡を歌っていただいたり、トーンチャイムを手に触れてもらい、その後に1曲みんなで演奏してもらったりしています。

また、手話を練習してもらいトーンチャイムと一緒に全員で演奏もします。充実と達成感で喜んでいただいています。トーンチャイムの練習は、木曜日に中央公民館で午後7時から午後9時。ご応募、お待ちしております。



みやび舞の会

みやび舞の会は、4歳～96歳の会員が趣味の踊りを生かして活動しています。病院や施設、各自治会における行事で声をかけていただき、春は雛祭り、夏は盆踊り、誕生会、クリスマス会等に伺い、踊りを披露します。みんな一緒になって踊ったり、時にはゲームやカラオケとともに楽しんで笑い合ったりと、時間があつという間に過ぎます。お別れの時には「また来てね。ありがとう。」と手を取って声を掛けられ「また来ますね。」と再会の約束をします。会員も齢を重ね、ボランティアをさせていただくたびに、逆に癒され、励まされています。観てくださる方の笑顔が「頑張りなさい。」と私たちの背中を押して応援してくれているように感じます。ありがたいことです。うれしいことに、ここ数年で子供の会員が増え、東温市民謡民舞大会や東温市文化祭などで、ベテランの会員に混じり踊るようになりました。「よさこいソーラン」や「ハ木節」など鳴子や花笠を手に、勢いよく踊る姿は頼もしくもあります。大人も子供に負けじとますます稽古に励んでいます。

これからも感謝の気持ちを忘れず、皆さんの励ましの拍手、明るい笑いに、観る人、踊る人が共に一時を共有し、喜んでいただけるよう、ボランティアを続けていきたいと思います。



災害ボランティア東温

みなさん、こんにちは。災害ボランティア東温です。私達は、ボランティアフェスティバルでの炊き出しや、東温市総合防災訓練の時の炊き出し・訓練もしています。また、災害ボランティア東温の「オリジナル防災頭巾」「災害食作り」の出前講座などもしています。

尚、愛大医学部の協力を得て「愛大医療研修」も毎年しています。防災先進地への視察研修も行い、昨年度は自主避難、避難勧告、避難誘導で避難率90%の新居浜市立川自治会防災会視察研修をし、普段からの地域コミュニティが一体となり、住民同士のつながりがいかに大切かということを考えさせられました。

個人の防災意識を高め、地域との連携を円滑にする一助になる活動を目指しています。

地震や豪雨などの自然災害はいつ起こるか誰にもわかりません。耐震補強、備蓄、避難経路場所の確認の次は、助け合える仲間、人間関係作りです。私達と一緒に防災や減災、絆づくりをしませんか！令和の時代が災害のない平和で希望のある時代であることを祈りつつ… 自助・共助に努めましょう！



オカリーナ♪そよかぜ

発足して5年が過ぎ、4月から6年目に入りました。「オカリーナ♪そよかぜ」です。毎週火曜日、午後1時から中央公民館で練習しています。

施設やグループホームなどを、慰問しています。またサロンなどのオファーがあれば、季節に合わせた曲や唱歌、懐メロなどを選曲し、演奏します。歌詞カードで一緒に歌ってもらったり、手遊びもしたりします。

オカリナは奥の深い楽器で満足のいく演奏はなかなかできませんが、楽しんでいただいた皆様の笑顔をパワーにして練習に励んでいます。新しいメンバーも募集しています。オカリナに興味のある方、1人で楽しんでいる方、一度、火曜日の午後、中央公民館の診察室を覗いてみてください。お待ちしています。

ご一緒にボランティアを楽しみましょう♪



第9回広域松山圏ボランティア協会交流会in東温

松山市・伊予市・松前町・砥部町・久万高原町・東温市の6市町のボランティアが一堂に集まる本交流会が6月9日(日)に東温市川内公民館にて開催されました!!

「舞台演奏」「情報交換会」「抽選会」を通して、他市町の参加者同士が大いに盛り上がり、とても良い一日となりました♪♪

舞台
演奏



情報
交換会



お楽しみの
抽選会!!
交流会



集合写真



第13回 東温市ボランティア フェスティバル(平成31年2月10日(日)開催)

コメント

はなみづき (全体を通して)

今回は、例年と異なり、2月の寒い時期の開催となりましたが、ボランティアの熱い思いに、会はとても温かいものとなりました。

オカリーナ♪そよかぜ (生姜湯配布)

2月の寒い中、ボラフェスに足を運んでいただいたお客様や参加者に、生姜湯の無料配布を初めて行いました。「温まる」「美味しい」と大好評でした。

みやび舞の会

会員、子供達と踊りを披露しました。皆さんの励ましの拍手や明るい笑いに、観る人、踊る人、その一時を共有し、喜んでいただけた優しい心に感謝し、励まされ、ボランティアを続けています。



2月10日(日) 10:00~14:00

場所：東温市中央公民館

・童話中学校吹奏楽部舞台決選・ボランティアによる舞台発表
・スタンプラリー（景品あり）・懇親会多段
・各種体験

主催：東温市ボランティア連絡協議会
089-955-5535



東温市ボランティア連絡協議会への 協力団体、協力者絶賛募集中!!



ボランティア同士で協力し、絆を深め合い、東温市のボランティアを盛り上げていきませんか?グループ同士の交流、イベントの開催、他市町のボランティア団体との研修・交流等、様々な活動を行っています。ジャンルは問いません!



お問い合わせ先

東温市ボランティア連絡協議会事務局
☎ 089-955-5535